

第3回武蔵村山市立地適正化計画策定委員会（令和6年6月6日）

意見対応表

No.	項目	意見	対応
3-1	居住誘導区域	モノレール駅が立地することでどの程度土地利用の変化が起こるのか、複数のシナリオを想定してデータで示せると良い。	既設開業区間での事例を参考にしながら、分析方法を検討中。
3-2		内水浸水リスクも考慮すべき。	過去の内水浸水実績をもとに、リスク分析を行った。 (資料3参照)
3-3		デマンド交通のような新しいサービスも利便性の中に評価できるような指標を作っても良い。	新しいサービスを見据えた評価を行い、居住誘導区域の検討に盛り込むことは現状難しいため、今後、地域公共交通計画で新しい公共交通サービスを含めた公共交通網のあり方について検討する中で協議したい。
3-4	都市機能誘導	大型店舗周辺での渋滞対策や、バスが駅前広場に入るまでの動線で渋滞にはまらないよう検討してほしい。	自動車からモノレールへの転換により、自動車台数が減ることを前提としていることは、本計画内で明示する。
3-5		市民意見に基づくなら、公園や広場を誘導施設にしても良いのでは。	一定規模の施設にオープンスペースを設けることで、滞留、交流する場所としての機能を誘導する。 (資料2-2参照)
3-6		自習室、テレワークができる施設や、電源スポット、無線 LAN の機能が公共施設にあると良い。	公共施設等にはこれらの機能を用意し、過ごしやすさや働きやすさの向上を図る。 (資料2-2参照)